

簡易耐震改修工事等にも補助を

他団体の動向、手法等を研究
高口 靖彦 (公明党)



問 本市の木造住宅の耐震改修に
対する助成は、建物全体で1.0
以上の耐震性能評価の値を求めています。これは1.0以上が大規模な地震に
対して倒壊の可能性が低い値のため、そ
こまでの改修が望ましいと考えている
ためです。部分改修や耐震性能評価1
W値が0.7以上1.0未満までの簡易耐震改
修などを、他市で助成していることは
承知しています。耐震化を推進する手
法として、他団体の動向、手法等を研
究していきたい。

答 本市の木造住宅の耐震改修に
対する助成は、建物全体で1.0
以上の耐震性能評価の値を求めています。これは1.0以上が大規模な地震に
対して倒壊の可能性が低い値のため、そ
こまでの改修が望ましいと考えている
ためです。部分改修や耐震性能評価1
W値が0.7以上1.0未満までの簡易耐震改
修などを、他市で助成していることは
承知しています。耐震化を推進する手
法として、他団体の動向、手法等を研
究していきたい。

命を守る防災対策を

自助意識の向上を図る
門倉 正子 (公明党)



問 東日本大震災から6年が経ち、
防災への意識が徐々に薄れてき
ており、市民の防災意識を高めること
が重要です。首都直下地震が発生した
場合、本市では市民の4分の3が在宅
避難となる想定ですが、援助が来るま
で自力で生き抜くためには備蓄品など
の備えが必要です。市民の自助への意
識向上のための取り組みについて、ま
た防災対策には、女性の視点も重要で
すが、女性の視点を生かす取り組みは
予定されているのか伺います。

答 首都直下地震のような大規模
災害では、消防や地元行政と
いった公助には限界があり、自助、共
助が重要となります。市民防災組織の
充実に向け、防災リーダーを育成する
ための普通救命講習受講や防災士の資
格取得支援などを実施しています。女
性が発案した、1週間分の食料を使い
ながら備蓄するローリングストック法
の周知、29年度作成予定の都の女性防
災ハンドブックなども活用しながら自
助意識の向上を図ってまいります。

図書館指定管理館の質の検証は

毎月の連絡調整会議等でチェックしている
上條 彰一 (日本共産党)



問 指定管理制度を導入した全国
の公立図書館でさまざまな問
題が起こっています。本市でも指定管
理者の職員の入れ替わりは激しいと聞
いています。これは最低賃金ぎりぎり
の非正規労働で働いているためで、そ
の結果専門性が確保されず、サービ
スの低下となっているのではないでし
ょうか。サービスの質の検証方法につ
いて伺います。また中央図書館への指
定管理者制度導入や窓口の民間委託につ
いては、絶対すべきではありません。

答 サービスの質については、毎
月の連絡調整会議や事業報告
書を中央図書館でチェックしています。
図書館協議会でも、図書館全体のサー
ビスの拡充、地区館との連携強化など
の検討とともに、中央図書館の望まし
いあり方の検討も行っています。また
仕様書の中で、業務の円滑な運営のた
めに要件や基準に従って職員を配置し
管理運営体制を構築するよう、安定し
た人材の確保や職員資質の向上など
も努めるよう示しています。

学校図書館を日常的に開館し、活用を

主体的な学習に結びつくよう充実を図りたい
稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)



問 調布市では全小中学校に学校
図書が週4日配置されていま
す。学校図書館活動が盛んになると
え、配慮が必要な子の居場所ともなり
得ることです。本市の小中学校で
は、学びの場として活用されているの
か、その現状と開館状況、課題を伺
います。また、配慮を必要とする子の居
場所としても、学びの向上の場として
有効活用をするためにも、学校図書
を日常的に開館していただきたい。

答 本市では、学校図書館支援指
導員を小中学校は週2回、中学
校は週1回配置、ほぼ全ての小中学校
で、昼休みに図書委員会の児童生徒に
よる図書の貸し出しを行っています。
中学校では、4校で放課後も開館して
いますが、児童生徒が図書に触れる機
会をふやし、授業内容を掘り下げて学
ぶための学校図書館の活用が課題だと
捉えています。主体的な学習に結びつ
く学校図書館の充実に、ネットワー
ク型の学校経営を生かしていきたい。



中央図書館

用語解説 「昼間人口」と「交流人口」とは

【昼間人口】 夜間人口から流出口(他へ通勤・通学する人
口)をマイナスし、流入人口(他から通勤・通学してくる
人口)をプラスしたもの。昼間の買い物客などは含まない。
【交流人口】 その地域を訪れる、1日のうち2時間以上滞
在する(交流する)人のこと。



市内銭湯

平成28年度 市民との意見交換会を開催しました

～皆さんの声を市政に届けます～

2月5日に、「子育て・教育」と「福祉・介護」をテーマとした立川
市民と議会との意見交換会を女性総合センター・アイムで開催しました。
無作為抽出でご案内を差し上げた市民の方のうち、計7名の方にご参加
いただきました。参加していただいた皆さま、ありがとうございました。

2月23日には全議員で意見交換会の振り返りを行い、皆さまからのご
意見をどのように議会として活用していくかなどについて話し合いました。

詳細については後日、立川市議会ホームページに掲載する予定ですが、
第一回定例会の中では、いただいた意見をもとにした議員による質問な
ども行われました。

2月5日(日)午前
テーマ「子育て・教育」
(女性総合センター・アイム)



2月5日(日)午後
テーマ「福祉・介護」
(女性総合センター・アイム)



2月23日(木)
「議員の意見交換会振り返り」
(市役所・市議会委員会室)



※平成29年度は、7月8日(土)午前10時から「ごみ問題(ごみ減量・リサイクル等)」、
7月15日(土)午前10時から「防災(地震・水害・自主防災等)」のテーマで、いずれ
も会場は女性総合センター・アイム第3学習室で開催します。
今年度は無作為抽出のご案内は行いません。どなたでもご参加できます。ぜひご参加
いただき、皆さまの貴重なご意見をお寄せください。詳細は広報、HPで後日掲載予定
です。

災害対策用としての銭湯に支援を

懇談会等の機会を通じて話をしていく
中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)



問 市内には4カ所の公衆浴場
いわゆる銭湯があります。災
害時における銭湯の必要性につ
いての考え方を伺います。例えば震災時にラ
イフラインの供給が停止しても、薪使
用の銭湯は、地下水を汲み上げる動力
の約40万円の発電機があれば、利用
できます。本市の公衆浴場予算は100万
円です。災害時の対策として要望が
あった場合は補助をお願いしたい。ま
たPRのため市の催しで入浴券等を配
布し、銭湯を維持していくべきです。

答 大規模災害が発生した場合、
宅での入浴が困難になる可能性があり、
公衆浴場は非常に重要と考えています。
市と市内4軒の公衆浴場は情報共有や
意見交換の場として、定期的に懇談会
を開催しています。その中で公衆浴場
の経営や取り巻く環境、利用者の減少
について、また浴場の施設や設備の改
修や修繕への市の補助、広報等での公
衆浴場のPR等についてなどご意見・
要望をいただいています。

平成28年度第2回
議員研修会を開催
2月9日、講師に早稲田大学マニ
フェスト研究所 事務局長の中村健氏
をお招きし、「議会改革」をテーマとし
た講義とともに、2月5日実施された
意見交換会を題材としてワークショッ
プ形式での研修
を行いました。
ワークショップ
では、より開か
れた議会への取
り組みや、次回
意見交換会に向
けての改善点な
どさまざまな意
見が出ました。



ワークショップ形式での研修の様子